

## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月5日

上場会社名 長瀬産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8012 URL <https://www.nagase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部本部長 (氏名) 高見 輝

TEL 03- 3665- 3103

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	616,466	3.9	20,928	3.0	22,214	0.4	16,103	10.0
2018年3月期第3四半期	593,564	10.5	20,319	74.2	22,119	73.6	14,637	65.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 6,869百万円 (74.7%) 2018年3月期第3四半期 27,104百万円 (39.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	128.73	
2018年3月期第3四半期	116.06	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	581,011	307,686	52.1	2,442.31
2018年3月期	569,456	308,804	53.3	2,424.97

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 302,875百万円 2018年3月期 303,636百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		17.00		23.00	40.00
2019年3月期		18.00			
2019年3月期(予想)				22.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2019年2月5日)公表いたしました「2019年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	828,000	5.6	25,500	5.7	27,500	5.8	18,600	8.3	149.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	127,408,285 株	2018年3月期	127,408,285 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	3,396,314 株	2018年3月期	2,195,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	125,092,087 株	2018年3月期3Q	126,116,626 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) 海外売上高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、企業業績を中心に堅調に推移しましたが、不透明感を増す世界経済の影響が見られました。また、世界経済においても、米国における企業業績を中心に堅調に推移しましたが、米中における貿易摩擦の影響のほか、各国の金融政策や為替動向などのリスク要因が顕在化しており、先行きの不透明感が増しております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の業績は、国内販売は3,130億7千万円（前年同期比+5.4%）、海外販売は3,033億9千万円（同+2.3%）となった結果、売上高は6,164億6千万円（同+3.9%）となりました。

利益面につきましては、国内外における全般的な増収や製造子会社における収益性の改善等により、売上総利益は808億9千万円（同+3.8%）、営業利益は209億2千万円（同+3.0%）、経常利益は222億1千万円（同+0.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は161億円（同+10.0%）となりました。

#### ② セグメント別の概況

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比の金額および比率については、前第3四半期連結累計期間を当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

#### 機能素材

機能素材につきましては、国内・海外ともに売上は増加しました。

機能化学品事業は、国内外における自動車生産台数の堅調な推移やナフサ価格の上昇等により、塗料原料およびウレタン原料の売上が増加したことに加え、前第2四半期連結会計期間に買収した米国のディストリビューターの売上が、当第3四半期連結累計期間においては全期間にわたり反映されていることから、事業全体として売上は増加しました。

スペシャリティケミカル事業は、海外では売上は微減となったものの、国内では半導体関連等の電子業界向けを中心としてエレクトロニクスケミカル、樹脂原料・添加剤の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は1,364億4千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、69億3千万円（+5.4%）の増収となりました。営業利益は42億2千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、2億4千万円（+6.2%）の増益となりました。

#### 加工材料

加工材料につきましては、国内・海外ともに売上は増加しました。

カラー&プロセッシング事業は、国内における工業用および包装材料用の合成樹脂、顔料・添加剤の売上および国内外における情報印刷関連材料等の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

OA・ゲーム機器業界への合成樹脂の販売を中心とするポリマーグローバルアカウント事業は、国内、グレートチャイナおよびアセアンにおいて売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は2,116億3千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、104億2千万円（+5.2%）の増収となりました。営業利益は国内外の製造子会社の収益性の改善等により、68億円と前第3四半期連結累計期間に比べ、12億2千万円（+21.8%）の増益となりました。

#### 電子

電子につきましては、国内・海外ともに売上は減少しました。

電子化学品事業は、半導体業界向け等の変性エポキシ樹脂関連の売上は堅調に推移したものの、フォトリソ材料や装置関連の売上が減少したことにより、事業全体として売上は減少しました。

電子資材事業は、半導体中間工程用の研磨剤関連ビジネスは堅調であったものの、ディスプレイ関連部材の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は946億8千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、60億4千万円（△6.0%）の減収となりました。営業利益は61億9千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、10億8千万円（△14.9%）の減益となりました。

### 自動車・エネルギー

自動車材料事業は、国内、グレートチャイナおよびアセアンにおいて樹脂ビジネスが好調に推移したことに加え、カーエレクトロニクス関連部材の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は1,055億円と前第3四半期連結累計期間に比べ、90億2千万円（+9.4%）の増収となりました。営業利益は24億6千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、3億4千万円（+16.4%）の増益となりました。

### 生活関連

生活関連につきましては、国内・海外ともに売上は増加しました。

ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において、トレハ<sup>®</sup>等の売上は海外では増加し、国内では微増となりました。スキンケア・トイレタリー分野では、AA2G<sup>®</sup>の国内外での売上が増加しました。医療・医薬分野では、医薬品原料・中間体・医用材料および製剤事業の売上が増加しました。この結果、事業全体として売上は増加しました。

化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、全般的に販売が低調であったことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は677億4千万円と前第3四半期連結累計期間に比べ、25億5千万円（+3.9%）の増収となりました。営業利益は37億円と前第3四半期連結累計期間に比べ、1億6千万円（+4.8%）の増益となりました。

### その他

特記すべき事項はありません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、売掛金やたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ、237億6千万円増加の3,770億8千万円となりました。固定資産は、保有株式の時価下落による投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ、122億円減少の2,039億2千万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、115億5千万円増加の5,810億1千万円となりました。

負債は、買掛金や借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、126億7千万円増加の2,733億2千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益161億円を計上したものの、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ、11億1千万円減少の3,076億8千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.3%から1.2ポイント減少し、52.1%となりました。

## (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2018年5月7日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,303	43,037
受取手形及び売掛金	225,999	240,614
商品及び製品	67,681	75,101
仕掛品	1,883	2,393
原材料及び貯蔵品	4,106	5,041
その他	10,953	11,260
貸倒引当金	△602	△359
流動資産合計	353,325	377,089
固定資産		
有形固定資産	67,225	68,936
無形固定資産		
のれん	25,478	24,323
技術資産	12,215	11,033
その他	3,396	2,877
無形固定資産合計	41,090	38,233
投資その他の資産		
投資有価証券	100,403	89,643
長期貸付金	109	256
繰延税金資産	2,409	2,133
その他	4,992	4,808
貸倒引当金	△101	△89
投資その他の資産合計	107,813	96,751
固定資産合計	216,130	203,921
資産合計	569,456	581,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,028	123,784
短期借入金	31,934	40,215
1年内返済予定の長期借入金	11,067	10,187
コマーシャル・ペーパー	5,000	10,000
1年内償還予定の社債	-	10,000
未払法人税等	1,738	1,976
賞与引当金	5,451	3,180
役員賞与引当金	274	212
その他	19,500	19,393
流動負債合計	192,996	218,949
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	17,906	18,409
繰延税金負債	14,420	11,676
退職給付に係る負債	14,518	13,482
その他	809	807
固定負債合計	67,655	54,375
負債合計	260,651	273,325
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	11,158	10,658
利益剰余金	232,534	243,504
自己株式	△3,114	△5,070
株主資本合計	250,278	258,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,773	41,368
繰延ヘッジ損益	△15	2
為替換算調整勘定	2,917	2,855
退職給付に係る調整累計額	△317	△142
その他の包括利益累計額合計	53,358	44,084
非支配株主持分	5,168	4,810
純資産合計	308,804	307,686
負債純資産合計	569,456	581,011

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	593,564	616,466
売上原価	515,654	535,568
売上総利益	77,909	80,898
販売費及び一般管理費	57,590	59,970
営業利益	20,319	20,928
営業外収益		
受取利息	152	145
受取配当金	1,479	1,624
受取賃貸料	203	199
持分法による投資利益	690	618
為替差益	114	-
その他	311	475
営業外収益合計	2,951	3,063
営業外費用		
支払利息	900	1,249
為替差損	-	235
その他	250	291
営業外費用合計	1,151	1,777
経常利益	22,119	22,214
特別利益		
固定資産売却益	28	136
投資有価証券売却益	8	321
関係会社株式売却益	-	6
負ののれん発生益	229	-
特別利益合計	267	464
特別損失		
固定資産売却損	24	70
固定資産廃棄損	66	155
減損損失	259	17
投資有価証券売却損	-	2
投資有価証券評価損	3	202
関係会社株式売却損	0	-
事業撤退損	457	187
段階取得に係る差損	294	-
特別損失合計	1,105	635
税金等調整前四半期純利益	21,280	22,043
法人税、住民税及び事業税	4,748	4,321
法人税等調整額	1,588	1,402
法人税等合計	6,336	5,723
四半期純利益	14,944	16,319
非支配株主に帰属する四半期純利益	307	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,637	16,103

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	14,944	16,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,333	△9,394
繰延ヘッジ損益	△8	18
為替換算調整勘定	2,494	△179
退職給付に係る調整額	162	172
持分法適用会社に対する持分相当額	177	△66
その他の包括利益合計	12,160	△9,449
四半期包括利益	27,104	6,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,531	6,829
非支配株主に係る四半期包括利益	572	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式1,200,000株を取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,956百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,070百万円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2018年11月29日をもって終了しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	129,506	201,210	100,732	96,479	65,193	593,121	442	593,564	-	-	593,564
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,819	1,698	1,557	2,094	360	7,530	3,512	11,043	-	△11,043	-
計	131,326	202,909	102,289	98,573	65,554	600,652	3,954	604,607	-	△11,043	593,564
セグメント利益又 は損失(△)	3,978	5,587	7,283	2,122	3,538	22,510	255	22,766	△2,775	328	20,319

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。
2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。
3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。
4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	136,441	211,638	94,686	105,507	67,747	616,022	444	616,466	-	-	616,466
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,329	1,843	1,269	2,118	301	7,863	4,118	11,982	-	△11,982	-
計	138,770	213,482	95,956	107,626	68,048	623,885	4,563	628,448	-	△11,982	616,466
セグメント利益又 は損失(△)	4,224	6,807	6,198	2,469	3,707	23,407	286	23,694	△3,151	385	20,928

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。
2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。
3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。
4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

## (事業区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において「機能素材」セグメントに分類しておりましたFitz Chem LLCを、「機能素材」および「生活関連」の2区分に変更しております。この変更は事業管理単位の変更によるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載していません。

報告セグメントごとの主な取り扱い商品・製品および提供するサービスは次のとおりであります。

「機能素材」セグメントは、塗料・インキ、樹脂、ウレタンフォーム、有機合成、界面活性剤、半導体業界等に対して、主な商品として塗料・インキ用原料、ウレタン原料・副資材、樹脂原料、樹脂添加剤、油剤原料、界面活性剤原料、フッ素ケミカル、封止材原料、シリコン原料等を販売しております。

「加工材料」セグメントは、顔料・添加剤関連、情報印刷関連材料、繊維加工業界並びに樹脂原材料・樹脂成型品、機能性フィルム・シート、土木建築等の業界に対して、主な商品として染料、顔料、機能性色素、情報印刷関連製品、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、自動車補修塗料、導電塗料、合成ゴム、無機材料、合成樹脂資材、樹脂成形機・金型等を販売しております。

「電子」セグメントは、ディスプレイ、タッチパネル、半導体、HDD、電子部品、重電業界等に対して、主な商品としてLCD・半導体前工程用材料および装置、ディスプレイパネル用部材、半導体アセンブリ材料および装置、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂、電子精密研磨剤等を販売しております。

「自動車・エネルギー」セグメントは、自動車・自動車部品業界およびエネルギー業界に対して、主な商品として合成樹脂製品、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、シリコン製品、樹脂成形機・金型、カーエレクトロニクス関連高機能素材・部品、電池材料、太陽電池・二次電池関連部材等を販売しております。

「生活関連」セグメントは、医薬、食品、化粧品等の業界に対して、主な商品として医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、食品添加物、化粧品添加物、飼料、界面活性剤を販売しており、主なサービスとして放射線測定を提供しております。また、最終消費者に対して、化粧品、健康食品、美容食品等を販売しております。

## 3. 補足情報

## (1) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	160,727	81,901	26,820	10,967	16,086	296,503
II 連結売上高(百万円)						593,564
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.2	13.8	4.5	1.8	2.7	50.0

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	160,734	89,637	28,660	11,404	12,953	303,391
II 連結売上高(百万円)						616,466
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.1	14.5	4.6	1.9	2.1	49.2

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
2. 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
3. 各区分に属する主な国または地域
- (1) グレーターチャイナ・・・中国、香港、台湾
  - (2) アセアン・・・・・・・・タイ、シンガポール
  - (3) 米州・・・・・・・・米国、メキシコ
  - (4) 欧州・・・・・・・・ドイツ
  - (5) その他・・・・・・・・韓国